

1. 支援する分野

茶産業

2. 支援する地域及び核となる事業者

【地域】：県内茶生産流通全域
及び静岡市・浜松市

【核となる事業者】：輸出に取り組む茶業者
(拠点茶工場、輸出業者、生産者)
各産地の茶業者、JA など

静岡茶ブランド「JAPAN TEA SHIZUOKA」

100%SHIZUOKA FIRST FLUSH&CRAFTED



<コンセプト>

- ・プレミアム・グローバルブランディング
- ・JAPAN'S LEADING TEA REGION
- ・多様な茶産地 ティーダイバーシティ

<アクションプラン>

- ・ティーツーリズム
- ・ブランド海外発表
- ・情報発信機能強化
- ・輸出向け生産拡大 ほか

3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- ・緑茶の輸出は急拡大（輸出量 1 万 2,612 トン、輸出額は 721 億円、と過去最高（R7 年））
- ・本県はリーフ茶を主力としており、需要に応じた適応が課題



（2）目指すべき目標（2030年）

- ・付加価値増加額：13.9億円
- ・茶輸出額：178億円

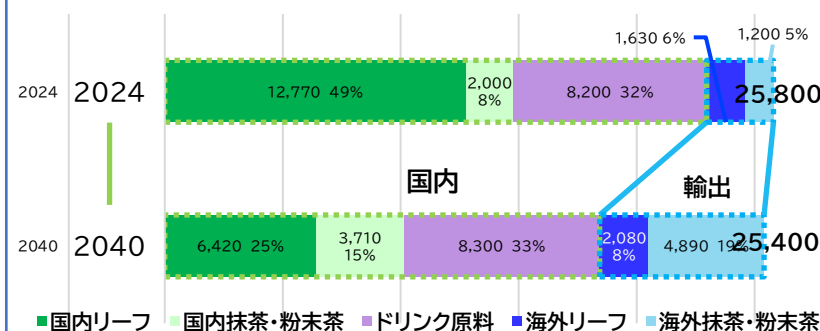
4. 勝ち筋

（1）基本戦略

海外需要の取込みによる稼げる茶業の実現

- 旺盛な海外需要を取込み、稼げる茶業を構築
- ・「日本のリーディング茶産地」としての本来価値を体現する静岡茶ブランドを構築し、世界市場への進出・拡大を図る
- ・輸出等の拠点茶工場への集中支援

2040年までに輸出割合を11%→27%に拡大



5. 政策手段

（1）取組に向けた課題

- ・海外市場での「静岡茶」ブランドの認知度向上
- ・需要に応じた生産・販売の拡大

（2）講じるべき政策パッケージ

① 静岡茶ブランドの構築

ア プレミアム・グローバルブランディング
静岡茶を日本を代表するお茶としてブランディング

イ 日本のリーディング茶産地としての認知度向上
静岡県は茶生産、文化、産地多様性、茶産業の集積地等リーディング茶産地であることを世界市場に向けて発信

② 輸出拡大と供給力の強化

ア 輸出需要に対応した生産体制整備
イ 海外市場開拓の推進

③ 産地の個性を生かした生産・販売拡大